

天満屋倉敷店 2018年3月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
2/28(水)～3/5(月)	<p>小橋順明 陶展</p> <p>隙のない端正な形の急須や細工物に定評がある小橋順明先生の倉敷天満屋3回目の個展です。1997年より、香川大学教授で現代陶芸家の倉石文雄氏のもとで美術陶芸を専攻し、同大学大学院修了後、備前焼伝統工芸士の鷹取閑山に師事。近年は備前焼による昆虫シリーズを精力的に発表され話題を呼んでいます。今展では急須や細工物を中心に花入、酒器、食器など新作約100点を出品いたします。</p>
3/7(水)～3/12(月)	<p>絵画・掛軸ご奉仕会</p> <p>手頃で飾りやすい図柄の絵画と掛軸をご奉仕価格で販売いたします。絵画は0号から6号の風景画・静物画を中心に、掛軸は年中掛けや、春物を中心に季節の床の間を飾る四季折々の掛軸を一堂に展示販売いたします。あわせて、色紙、色紙額、風鎮、防虫香などの小物もご用意いたします。</p>
3/14(水)～3/19(月)	<p>萩焼 兼田知明 作陶展</p> <p>1817年の開窯より200年の伝統を継承する萩焼窯元兼田家に生まれ、父の作陶を見ながら育った兼田知明先生の倉敷天満屋初個展です。倉敷芸術科学大学及び大学院で陶芸を専攻されたのち、父・佳炎に師事。近年は数々の公募展に出品され受賞を重ねている注目作家です。萩焼の伝統と歴史を踏まえながら新たな表現を目指して研鑽を積み重ねられている先生の新作を一堂に展覧いたします。</p>
3/21(水・祝)～3/26(月)	<p>夢とロマンを求めて 清水新也油絵展</p> <p>人の心に必ずある童心や幼いころ抱いた夢や希望といった純粋な気持ちを、ピエロ(先生にとっては道化師ではなく子供の象徴)を通してキャンバスに表現する画家・清水新也先生の作品展です。「夢とロマンを求めて」という変わらぬテーマのもと、今回も子供や動物をモチーフとしたぬくもりのある油絵約30点を出品いたします。</p>
3/28(水)～4/2(月)	<p>倉敷天満屋新店開店10周年 古稀記念 児島塊太郎 陶芸展</p> <p>大原美術館の作品収集でも有名な洋画家児島虎次郎の孫にあたり、現在は倉敷芸術科学大学副学長及び加計美術館館長などをつとめられている陶芸家児島塊太郎先生の古稀を迎えられた記念展です。教育者そして地元を代表する文化人として精力的に活動される中、陶芸家として技術や感性の深化を披露する作品を一堂に展覧いたします。</p>

作成：美術画廊担当 国光

営業時間 毎日午後6時閉場

※3/6・13・20・27は閉廊日

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。